

## 平成26年度 定期総会開催

5月18日、狭山市産業労働センター異業種交流スペースにて文団連の定期総会が開催されました。板屋副会長の司会で始まった総会は、能川副会長による開会の辞の後、横山会長から、本年度は市制60周年および文団連設立15周年にあたり、先日開催した桜まつりでは、狭山市に関連したクイズを出すなどして会場を盛り上げた。観光協会との共催もあって桜まつりは市民の間に定着してきている。これら文団連が主催する事業が狭山市の文化の活性化に繋がれば良いと思うと挨拶しました。



来賓の田村秀二狭山市議会議長は、市議会でも文団連を支援していく、また市制60周年を記念して「子ども議会」を開催するので、文団連所属の子ども達にも参加を願っていると挨拶されました。続いて同じく来賓の松本晴夫教育長は、青少年文化体験フェスタや、民話を広めるプロジェクト活動を例に挙げ、文団連が文化の発展に尽力している事に感謝の意を表されました。

定足数48名に対し、出席・委任合わせて61名で総会は成立。童句振興協会の広沢理事を議長に選出して議事に入り、平成25年度の事業報告と決算報告、並びに、平成26年度の事業計画と予算計画を、それぞれ満場の拍手で承認しました。本年度は役員・監査の改選はなく、昨年と同じメンバーが運営に携わります。

来賓の生涯学習部 栗原秀明部長、および社会教育課 大寺宏之課長にはお忙しい中、最後まで臨席いただきました。来賓の皆様には改めて感謝いたします。

### 平成26年度 文団連基本方針

文化活動団体を支援することによって活き活きとした文化人が狭山にあふれる事を目標とする。

また各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。

#### 重点項目

1. 会員の拡大
2. 所属団体の活性化
3. 自主事業の充実と自立
4. 広報活動の充実
5. 他団体との連携
6. 狭山の文化の掘り起こしと普及（狭山の民話を広めるプロジェクト）
7. 被災者支援プロジェクト活動の継続

